

■ ともに高め・輝かそう自分のよさ、老中のよさ、地域のよさ (老上中学校)

1 【活動の趣旨】

地域の方を講師に招いて、様々なことを知る、考える、挑戦する機会として体験的活動や熟議を通し、地域と将来を考えるきっかけにすることをめざす。

2 【特徴的な活動内容】

○「平和学習」(3年生:5月)

地域の講師をお招きし、沖縄への思いを「三線」の演奏とともに語っていただいた。修学旅行に向けた学びの機会となった。



【平和学習】

○「書道教室」(7月~9月)

今年も地元の書家をお招きし、書道の楽しさと上達を目的として全校生徒が競書会に向けて熱心に取り組んだ。



【書道教室】

○「校外作品展示会」(4月、11月)

地域の銀行の一角に、美術科で制作した作品を展示した。多くの方々に「老中生」の学びを知っていただく機会となった。



【校外作品展示会】

○「校内作品展示会」(10月)

老中祭文化の部にあわせて、国語科、社会科、美術科、美術部で取り組んだ作品やレポートを展示した。多くの保護者や地域の方に見ていただいた。

○「金融教育」(2年生:1月)

地域の銀行から講師をお招きした。「職場体験学習」で働くことについて学んだ2年生にとって、これからの人生に必要な「お金」との上手な付き合い方や将来について考える機会となった。



【金融教育】

○「進路学習&職業体験講話」(1年生:2月)

「生きる力」を身につけ、将来の進路選択、実現に向け人生の先輩である方々から様々な体験や人生観を学ぶ機会とした。

3 【実施に当たっての工夫】

時期や規模、方法などを検討し、実施した。校内展示会ではICTを活用して取組への感想やご意見をいただけるようにした。

4 【事業の成果】

多くの講師の方々との体験的な活動から「将来の自分」について考え、「地域に支えられている実感」を得ることができた。

5 【事業実施上の課題・今後の連携・協働活動実施に向けて】

「スクールESDくさつ」と地域協働合校を連動させながら実施していくために、一人ひとりの具体的な「探究的な学び」につなげていく必要がある。